

当社遊休地を活用した太陽光発電開発について

～追加性のある再エネ電源開発を共同で実施します～

九州旅客鉄道株式会社（代表取締役社長執行役員：古宮 洋二 以下、「当社」）は、大阪ガス株式会社（以下、「大阪ガス」）と株式会社ウエストホールディングス（以下、「ウエストHD」）との3社共同で、当社の遊休地を活用した中小型の新設非FIT太陽光発電所の開発を行うことについて合意しました。

共同開発の1号案件として、山口県下関市にある当社遊休地に、太陽光発電デベロッパーのウエストHDが太陽光発電所の開発を行い、大阪ガスが発電された電力及び環境価値の需給管理と長期購入を行います。なお、当社は、大阪ガスが購入した新設非FIT再エネ電源を含む再エネ電気メニューを、当社駅施設等に購入する計画としております。

今後も、当社遊休地を活用した同モデルによる再エネ電源開発の検討を進めてまいります。

■開発場所

山口県下関市彦島

※当社が所有していた変電所跡地

■開発予定時期

2022年9月以降（予定）

■開発面積

約1,500㎡

■再エネ開発モデルのイメージ



JR九州が保有する遊休地活用により、新設非FIT再エネ電源の開発事業を3社共同で実施



※記載の太陽光発電所で賄えない再エネ電力・環境価値は、Daigasグループの再エネ電源等から供給

当社グループは、引き続き2050年までにCO₂排出量実質ゼロの実現に向けた取り組みを推進するとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。